

日本健康心理学会メールマガジン No.24



2014年7月21日 第24号

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラムvol.19 大分大学医学部 上野徳美先生

1) 学会からのお知らせ <http://jahp.wdc-jp.com/>

■日本健康心理学会第27回大会 2014年11月1日・2日

▼いったん締め切った宿泊予約を再開しました。今後は、直接、ホテルに予約をお願いいたします。残り部屋数が少なくなっておりますので、お早目にお申し込みください。

<http://jahp.wdc-jp.com/conf/27th/access.html>

▼夕日を眺めながら外のテラスで行う懇親会、沖縄のリゾートホテルならではの懇親会です。まだ予約されていない方は、ぜひお申し込みを！

<http://jahp.wdc-jp.com/conf/27th/index.html>

■UPM第27回大会（9月7日、日本大学）での研修、および日本行動医学会（11月22-23日、早稲田大学）でのシンポジウム参加は、健康心理士の研修ポイントになります。

UPM <http://www.jupm.jp/assembly/index.html>

日本行動医学会 <https://sites.google.com/site/jcbm2014/top-page>

■公認心理師法案実現のための説明集회가開催されました。山田富美雄先生（大阪人間科学大学）が、当日の様子をお知らせ下さいました。「2014年7月12日午後1時、中野サンプラザ大ホールは国家資格を待ち望む950名の心理専門職で埋まった。議員立法としてまとめた河村建夫・古屋典子両議員による法案の趣旨・経緯説明と、医師の立場から同法案成立を応援する中嶋義文氏の期待される効果に聞き入る間に2時間が過ぎた。帰路で交わされる期待に満ちた会話が、快晴の中野駅前を更に熱くした。」詳しい集会の様子は本学会HPをご覧ください。 <http://jahp.wdc-jp.com>

■第6回アジア健康心理学会議（2016年7月23～24日）

第6回アジア心理学会議（ACHP2016）は、日本健康心理学会主催（野口京子大会長）のもと、2016年7月23～24日にパシフィコ横浜で開催します。この会議は、同会場で開催される国際心理学会議（ICP2016）に先立って行われます。詳しい情報は今後、メールマガジンやHPで随時お知らせして参ります。大会パンフレット <http://jahp.wdc-jp.com/pdf/ACHP2016.pdf>

■公認心理師に関する調査（7月末締切）

学会では、公認心理師対応の特別検討委員会を立ち上げ、今後の対策を議論し始めています。健康心理士の資格保有者を対象に、国家資格取得の意向の有無等公認心理師に関わる調査を実施中です。締め切りは7月末です。ご協力よろしくお願い致します。

■「国民の身体活動増進を考える」研究部会第2回研究集会
今回は、若手で精力的に研究に取り組まれている先生と大学院生にご自身の研究について熱く語っていただきます。

事前申し込みは不要です。是非ご参加ください。

日程：2014年8月7日（木）16時～18時30分

場所：早稲田大学早稲田キャンパス8号館309教室

<http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>

内容：「認知症予防と身体活動の促進」「運動部活動の活性化のための外部指導者の活用推進」

「ヘルスマニケーションを活用したがん予防」

2) 健康心理学コラムvol.19

「対人援助職のバーンアウト予防と支援介入法」

（大分大学医学部 上野 徳美 先生）

現代の超高齢化社会、ストレス社会を反映して、患者や高齢者を支える看護職などの対人援助職の需要が増すなかで、過重労働や人間関係によるバーンアウトと離職は結構深刻な状況にあります。とりわけ、経験の浅い新人や若手職員にメンタルヘルス不調者や離職、休職者の多い傾向が見られます。

私たちは、病院看護部と協力して看護職のメンタルヘルス研修や新人研修をはじめ、新人および若手看護師のバーンアウト予防と支援介入法の研究を行っています。例えば、アサーション等のコミュニケーションスキルやストレス対処能力の改善・向上を通してバーンアウトと離職を予防・軽減できるような介入プログラムを考案し、健康心理学的支援モデルを提案できないかと考えています。これまでにその成果の一端を当学会でも報告させていただいています。

ただ、現場や協力者の職務上の制約等からRCTのような統制群を設定した介入研究を行うことは難しく、観察研究の域を出ていません。また、介入効果を適切に評価・測定することの難しさも感じています。

他に、若手看護師のバーンアウトや抑うつ、離職意図の発生と回復過程、離職状況について長期的縦断研究を行っています。バーンアウトや離職などの発生と軽減、回復の過程を縦断的に調べ、バーンアウト等の予防と軽減や職業発達過程の理解に益する知見を提供できればと考えています。

かなりの期間を要する骨の折れる研究ですが、気長に取り組んでいます。いずれにしても、看護医療現場のニーズを踏まえた実践研究や問題解決志向的研究の重要性と難しさを感じているところです。

■上野先生HP

<http://www.med.oita-u.ac.jp/shakai/>
回女性心身症医学会学術集会（採択）

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。

日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。
広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます
<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>